2025年8月期 (2024年9月~2025年8月)

決算説明会

株式会社アドテックプラズマテクノロジー 東証スタンダード <u>証券コード:6668</u>







おかげさまで アドテックプラズマテクノロジーは 40周年を迎えました

2025年1月26日に当社は**40**周年を迎えました。 関係者の皆様のおかげで、**40**年という道のり を歩んでいくことができました。

改めまして、支えてくださった全ての方々へ 心より感謝申し上げます。 今後につきましても、皆様の信頼に応えられ るよう、精進してまいります。





2025年8月期連結業績

2025年8月期 サマリー



2025年8月期 概況

売上高 (前期比 +12.2% 過去最高) 受注高 (前期比 +18.0%)

《半導体・液晶関連事業》

- 業界全般の通期受注環境は力強い回復に至らなかったものの、中国関連の大口受注獲得と、光学系を含む国内受注の獲得により売上高増加となった。
- 第4四半期における新機種の初期出荷による利益率低下の影響から、通期における利益 率の回復には至らなかった。

《研究機関・大学関連事業》

● 大口案件(医療装置向け加速器用電源)の売上計上により、大幅増収・黒字転換するも 利益率伸長には至らなかった。

2026年8月期 業績予想

《半導体・液晶関連事業》

● 半導体関連の受注の本格回復には時間を要する見込みであり、減収減益を見込む。

《研究機関・大学関連事業》

大口案件(医療装置向け加速器用電源)を受注済みなるも、売上計上の大部分は2027 年8月期予定であり減収減益を見込む。

連結業績概要



	立:百万円) 24/8期 実績 25/8期 実績 前期比 増減率		前掛比	予想		
(単位:百万円)			25/8期 業績予想	実績比増減率		
売上高	11,298	12,680	12.2%	12,700	▲0.1%	
売上総利益	4,203	4,822	14.7%	-	-	
営業利益	1,485	1,808	21.8%	1,950	▲7.2 %	
経常利益	1,612	1,897	17.7%	2,020	▲6.1%	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,213	2,007	65.3%	1,520	32.0%	

連結売上高・営業利益の推移





セグメント情報

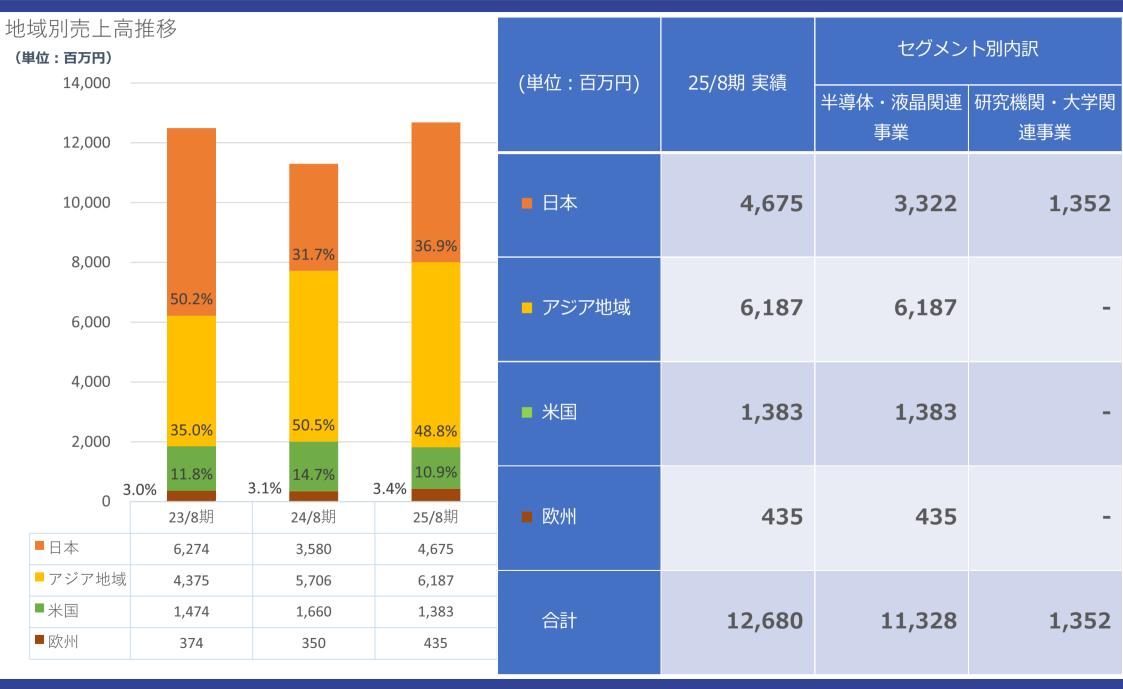


セグメント別売上高推移 (単位: 百万円)		(単位:百万円)		24/8期 実績	25/8期 実績	前期比増減率	
12,498	12 680		业 道人,流早	売上高	10,539	11,328	7.5%
	11,298		半導体・液晶 関連事業	営業利益	1,465	1,702	16.2%
				売上高	758	1,352	78.3%
			研究機関・大学関 · 連事業	営業利益	▲ 52	37	_
			合計	売上高	11,298	12,680	12.2%
23/8期	24/8期	25/8期		営業利益	1,412	1,739	23.2%

※各セグメントの営業利益は、セグメント間取引を含む

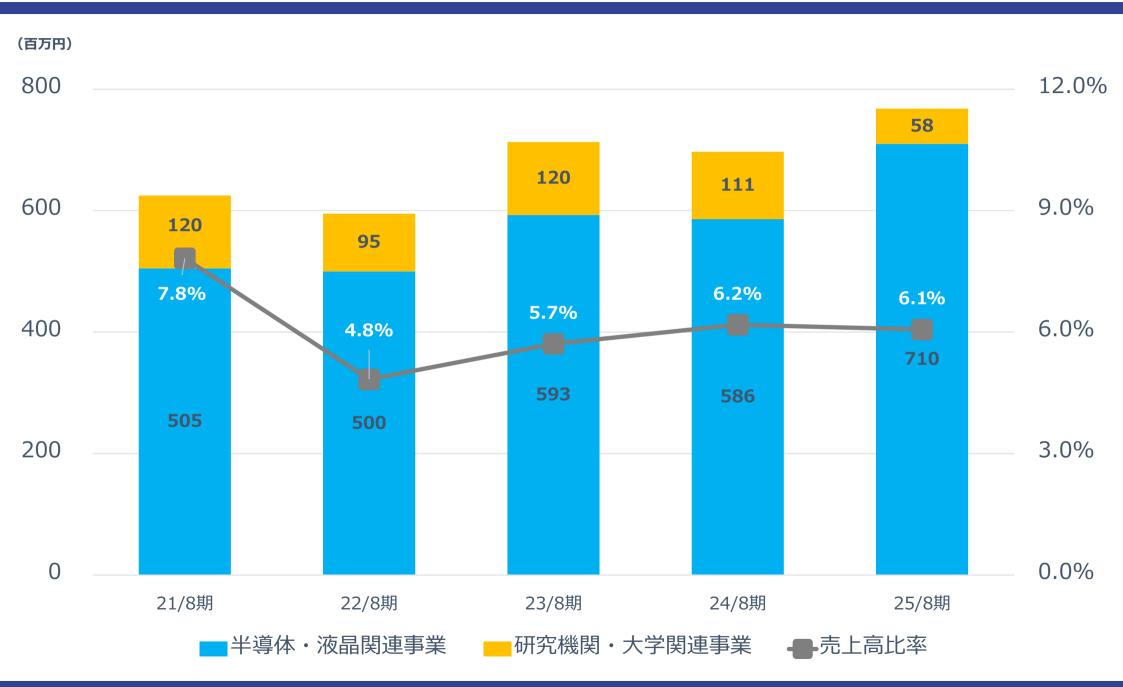
連結地域別売上高





セグメント別研究開発費推移





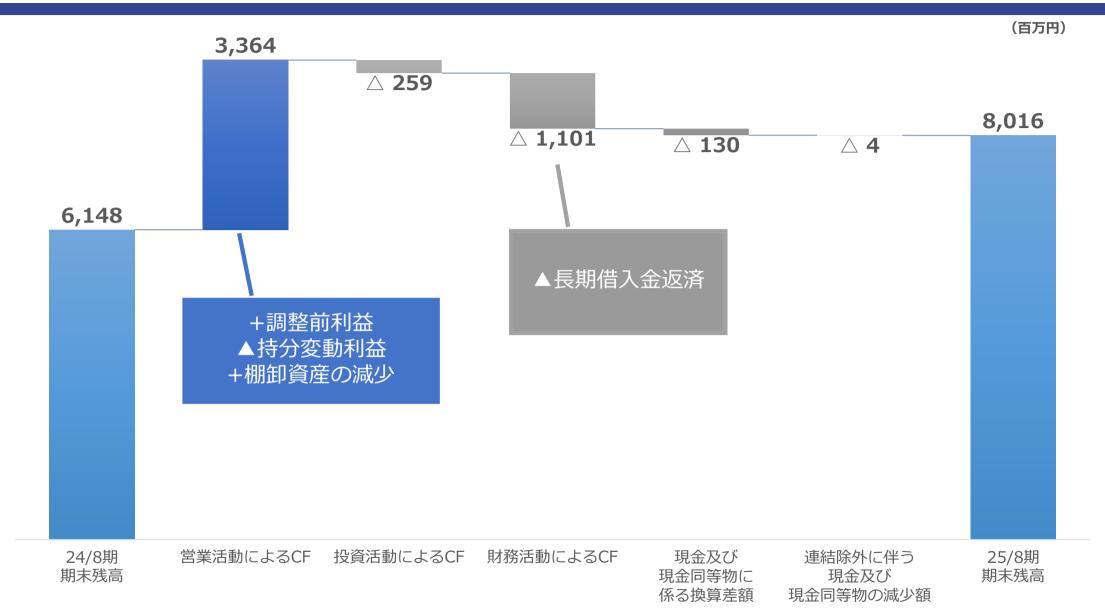
セグメント別受注高・受注残高推移





連結キャッシュ・フロー









2026年8月期 連結業績予想

半導体業界の動向



	業界	2025年 ^(1月~6月)	2025年 ^(7月~12月)	2026年 ^(1月~6月)	内容
	メモリ	>			AIサーバー向けをメインとし、HBMの投資は2026年以降、中国、アメリカ、韓国市場が増加すると予測。DRAMは在庫調整が終わり、今後生産能力増のための設備投資が行われると見込まれる。NANDも2026年以降好転すると予測する。
半	ロジック				先端・レガシー向けロジックは、中国市場で需要拡大していたものの、一部在庫調整により設備投資が鈍化。アメリカ、韓国、台湾でも同様の動きとなっている。しかし、一定レベルでの設備投資は継続すると予測しており、トータルで考え横這いすると見込む。
半 導 体	イメージセンサ				AIスマートフォン、PC等:横這い。 自動車向け:EV市場減少により需要減少。 デジタル、ミラーレスカメラ市場:需要増加傾向。 トータルで考え、横這いすると見込む。
	車載半導体	>	>		EV不況、自動車関税等、世界的に需要減少傾向。 回復時期には時間がかかると予測。
光学系	スパッタ・蒸着 ^(有機EL・FPD含む)	\$			スパッタ装置(スマートフォン・タブレット向け):2025年下期 に設備投資が行われると見込む。 蒸着装置:中国・台湾市場を中心に2025年後半から増加傾向。

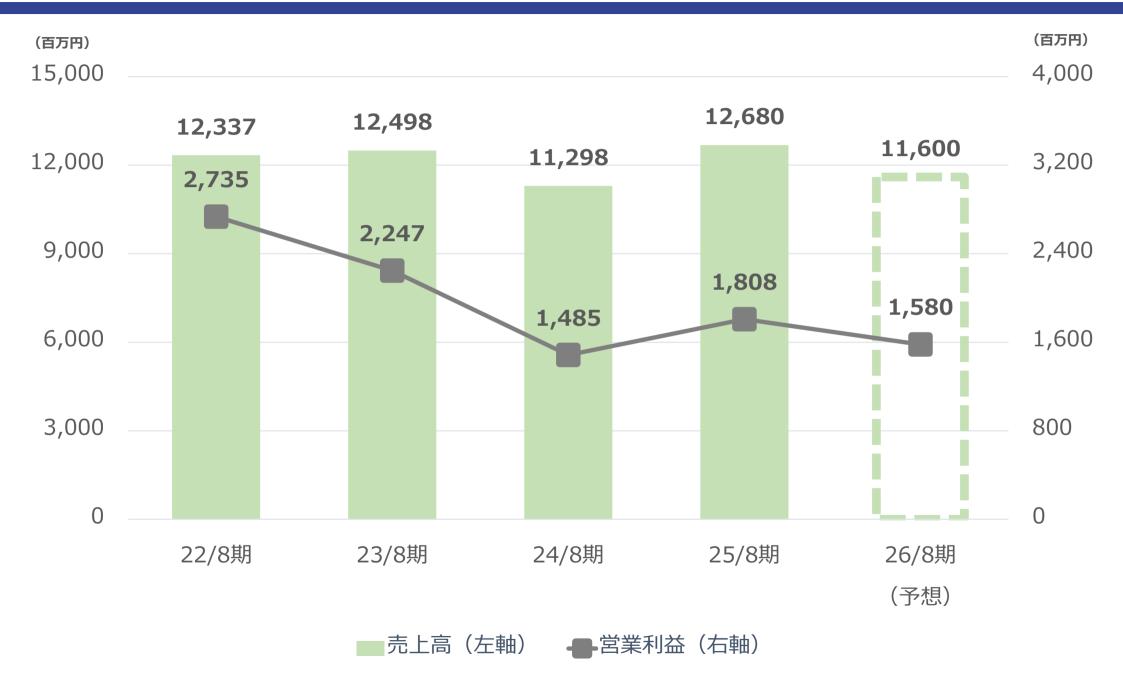
連結業績予想



(単位:百万円)	25/8期 実績	26/8期 通期予想	前期比增減率
売上高	12,680	11,600	▲8.5%
営業利益	1,808	1,580	▲12.6 %
経常利益	1,897	1,350	▲28.9 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,007	1,010	▲49.7 %
1株当たり配当金 (年間)(円)	27 ※記念配当5円含む	24	-

連結売上高・営業利益の推移(予想)









トピックス

アドテックグループの成長戦略



2025年8月期の 取組み

今後の取組み

2030年8月期の 目指すべき姿

生産力

- 納期短縮
- 海外生産拠点への製造移管
- 長納期材料の確保
- 板金加工等の内製化
- ベトナム工場・佐野設備増強
- 海外の人材育成
- 海外生産拠点と本社の連携強化による製造工程の効率化と高品質化の実現
- 連結売上高400億円

設計開発力

- 高速制御システムの開発
- 高付加価値製品の開発
- 国内外の人材育成
- RF測定装置の開発

- 高速制御システムのラインナップ拡充
- 高付加価値製品の開発加速
- 国内・海外拠点の設計開発人材の増強
- RF測定装置の開発及び顧客提案の強化

- ・ 生産キャパ3倍
- ・ 設計キャパ2倍
- 海外売上比率80%以上

営業力 技術サービスカ

- 海外現地社員の育成
- 中国深圳拠点の新設
- 人材增強
- 高付加価値製品の提案、販売
- 営業・技術サービス人材の増強
- ・ 米国・中国等の海外市場でのシェアUP
- 大手装置メーカーへ高付加価値製品の提案

新量産製品の ビジネス化

- 新量産製品の開発 マイクロ波システム バイポーラ電源 リモートプラズマ用電源
- アドテックへの量産開発業務の集約
- 営業・開発・量産面の効率化・加速化

新量産製品の 売上比率30%確保

英国連結子会社 第三者割当増資







	社名	Adt	Adtec Healthcare Limited(英国)				
対象会社	設立	202	2年8	8月26日			
	事業内容	医療	分野	野向け製品の設計・製造・販売			
	増資株式数			2,400万株(0.50米ドル/株)			
	発行価格の増額			1,200万米ドル			
増資概要	払込年月			2025年6月			
	割当先	1	,800	万株	AIPO FUND LP(米国)		
	刮当九	600		万株	SG Biomedical(台湾)		
	当社グループ 持株比率		90.0% → 31.6%				
異動内容	連結区分		連結子会社 → 持分法適用関連会社 2025年8月期第4四半期より				
	財務的影響		特別利益 693百万円 第三者割当増資による持分比率低下のため				
	48.6% AIPO F)FUND LP(米国)			
増資後 株主構成				Europe Limited(英国) 0%子会社			
	19.8%	SG	Biomedical Co., Ltd.(台湾)				
増資目的							

製品ラインナップ充実の取組



	新 TSE	13.56MHz 量產機 10000W 開発中		AMVS	60MHz 3000W	New		バイポーラ 電源	1000V30A 10kW 1000V40A 20kW	
R F		13.56MHz 試作機	M	新 AVM	2MHz 3000W	New	直流電源		1000V75A 30kW 開発中	
G	新 AVL	3000W 開発中 		Avin	300011		源	DCパルス	1500V 3A 1500V 0.5A 評価中 5300W	
		27MHz 試作機 3000W 開発中		新 電子MU	13.56MHz 600W	評価中		電源	2000V 5A 1500V 0.8A 評価中 11kW	
計測	新 ADS	13.56MHz 5000W 評価中	新製	プラズマ タクト	PLT-200	量産機開発中	応用機器	マイクロ波 ソリッドス テート合成	2.45GHz 250W×2 開発中	
器	新 ADM	13.56MHz 開発中	品	AWポット		評価中	器波	テート合成 器 	250W×4	
R	新AVL 高速制御	: 即電源 Mark5	М	新AVM: 高速制御電源	原用 Mark5		計	新ADS: 50Ω系パワー	センサ	
F G			Ü	新電子MU: 電子マッチングユニット		器	新ADM: 非50Ω系インピーダンスセンサ			

■RFG=高周波電源 ■MU=マッチングユニット

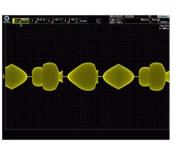
新規量產開発製品



Mark V Control System

制御タクトが従来機比1000倍となる、高い電力再現性と緻密な波形成形を実現するシステムを搭載した、高周波電源及びマッチングユニット





ADS · ADM

ADS: 高周波信号の電力を測定する50Ω系の高精度計測センサ ADM: 非50Ω系環境の電気特性を測定する高精度計測センサ



DC Power Supply

プラズマ発生装置などに用いられ、広帯域・高速応答が可能な直流電源



Microwave

マイクロ波を利用した加熱装置やプラズマ発生装置をはじめ、実験用から産業用まで幅広い分野に対応した機器

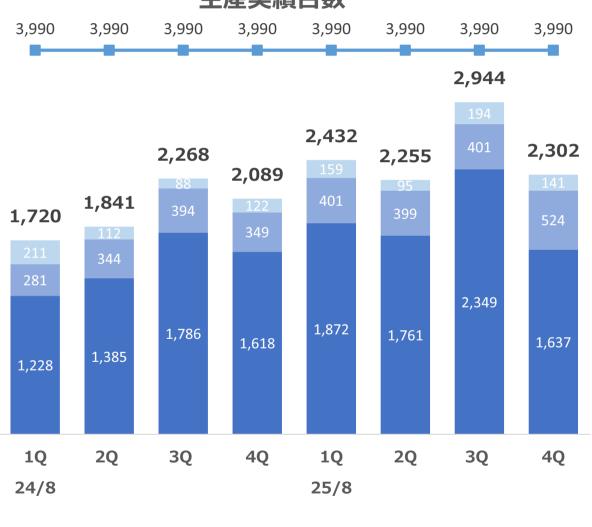


半導体事業 生産状況

ベトナム 韓国







佐野他

→ 計画キャパ

ベトナム工場設備導入

【導入目的】 将来的な受注増への対応準備 設備故障による減産リスク回避



内製部品の製造キャパUP



基板の実装ラインの増加により、 生産対応種類が増加







会社概要



会社	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
設立年月日	1985年1月26日
所在地	広島県福山市引野町五丁目6番10号
決算期	8月
資本金	835百万円(2025年8月末)
代表者	代表取締役社長 森下 秀法
従業員数(連結)	523名(2025年8月末/臨時従業員除く)
セグメント	半導体・液晶関連事業 研究機関・大学関連事業
グループ拠点	国内:広島・神奈川・栃木 海外:米国・英国・ベトナム・韓国・台湾・中国

セグメント別事業概要・グループの強み



半導体・液晶関連

半導体製造装置内でプラズマを発生させ る高周波電源を主力製品とした関連製品 の設計、製造、販売、サービスの提供

フーザー

- ●半導体製造装置メーカー
- ●光学機器メーカー etc.

主力製品

- ●高周波電源(RFG)
- ●マッチングユニット(MU)
- ●計測器
- ●直流電源
- ●マイクロ波応用機器

会社名

株式会社アドテックプラズマテクノロジー Adtec Technology, Inc. Adtec Europe Limited ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd. ADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd. ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd. ADTEC Plasma Technology China Ltd.

研究機関・大学関連

医療現場、国の研究機関等において使用 される、治療装置や実験施設等の電源装 置の設計、製造、販売

ユーザー

- ●国の研究機関
- 大学及び大学病院
- ●一般産業 etc.

主力製品

- ★子加速器電磁石励磁用電源
- ●高電圧電源
- ●直流電源
- ●マイクロ波応用機器

会社名

株式会社IDX

アドテックグループの強み

▶顧客目線のきめ細かい技術サービス対応

日々進化する半導体製造装置に求められる高周波電源の開発の対応力電源専業メーカーとして高度化する顧客開発ニーズへ柔軟に対応できる

▶電源に特化した経営を行う事により、電源開発に注力でき、市場を取り込む等の意思決定が早い

周波数の安定性を重視した、高耐久性の製品開発力

高周波電源の他、小型DC電源から大型キッカー電源、マイクロ波製品など多くのバリエーションを扱える

半導体事業・主力製品実用イメージ



RFG・MUの使用工程例

シリコンウエハー上に作られるICチップの前工程



半導体製造プロセスにおいて、 エッチングや成膜などの微細 加工を実現する為に、プラズ マ発生用の高周波電源は必要 不可欠。

【求められる性能】

チャンバー内で起こる現象に合わせ、安定したプロセスを再現できる必要がある為、安定した正確な電力供給ができる制御技術と、耐久性が求められる。

【当社主力製品RFGの強み】 革新的な電気回路技術を用い て、故障率が低減した製品。

グループ拠点







ご清聴ありがとうございました。



■将来見通しに係る記述についての注意事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づいて当社が判断したものであり、様々な不確定要因を含んでおります。

従いまして、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。